

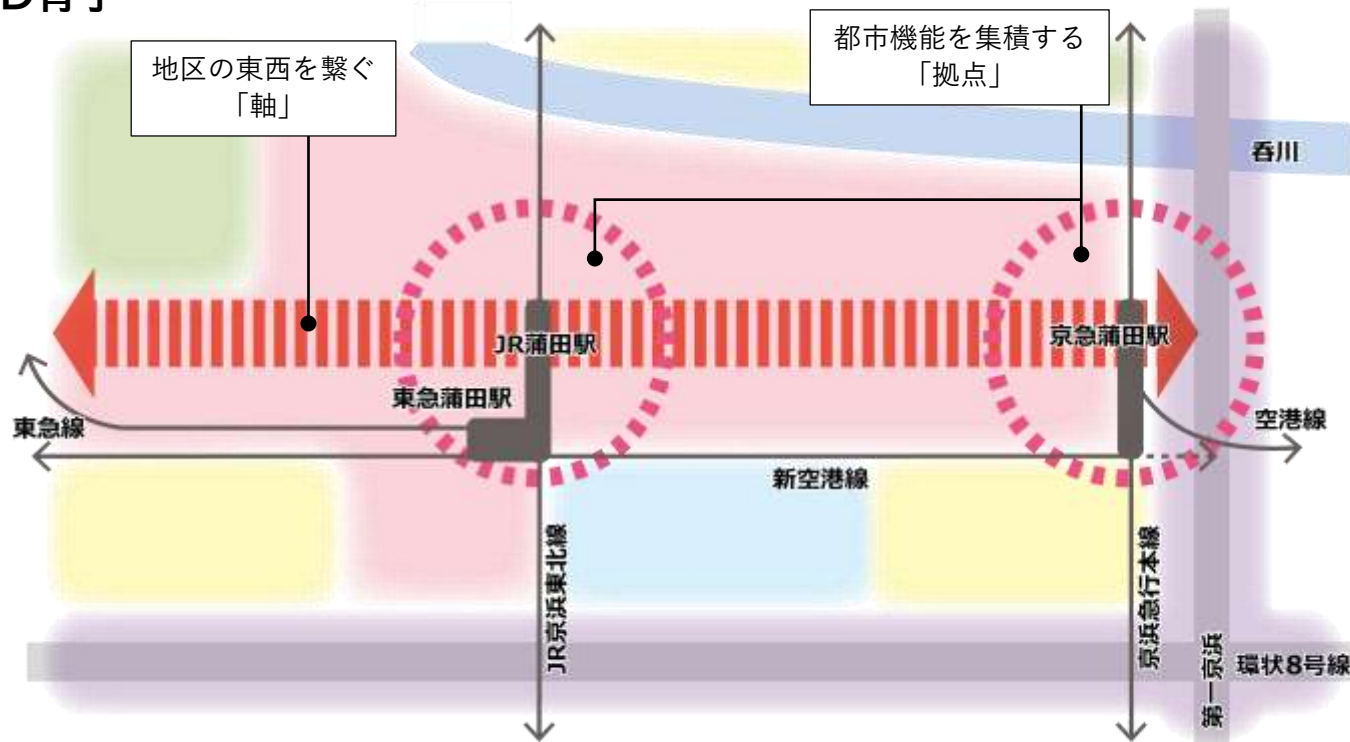
蒲田駅周辺地区のまちづくりに向けて、活動や交流の中心となる「駅前拠点」と「都市軸」や、活動や交流を面的に広げていく「エリア」の役割や考え方を示します

【拠点】
JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅は、複数の鉄道路線が乗り入れ、区内外をつなぐ交通結節点であり、グランドデザイン対象範囲の中心であることから、より重点的・積極的なまちづくりを推進するため、JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅の駅とその周辺を拠点に位置付ける。

【都市軸】
まちづくりの進展、新空港線整備やJR・東急蒲田駅周辺の基盤整備を見据えて、これらの進展により生じる活力を蒲田駅周辺地区のまちづくり全体へと波及させるため、蒲田駅周辺地区の東西を繋ぐ都市軸を位置付ける。

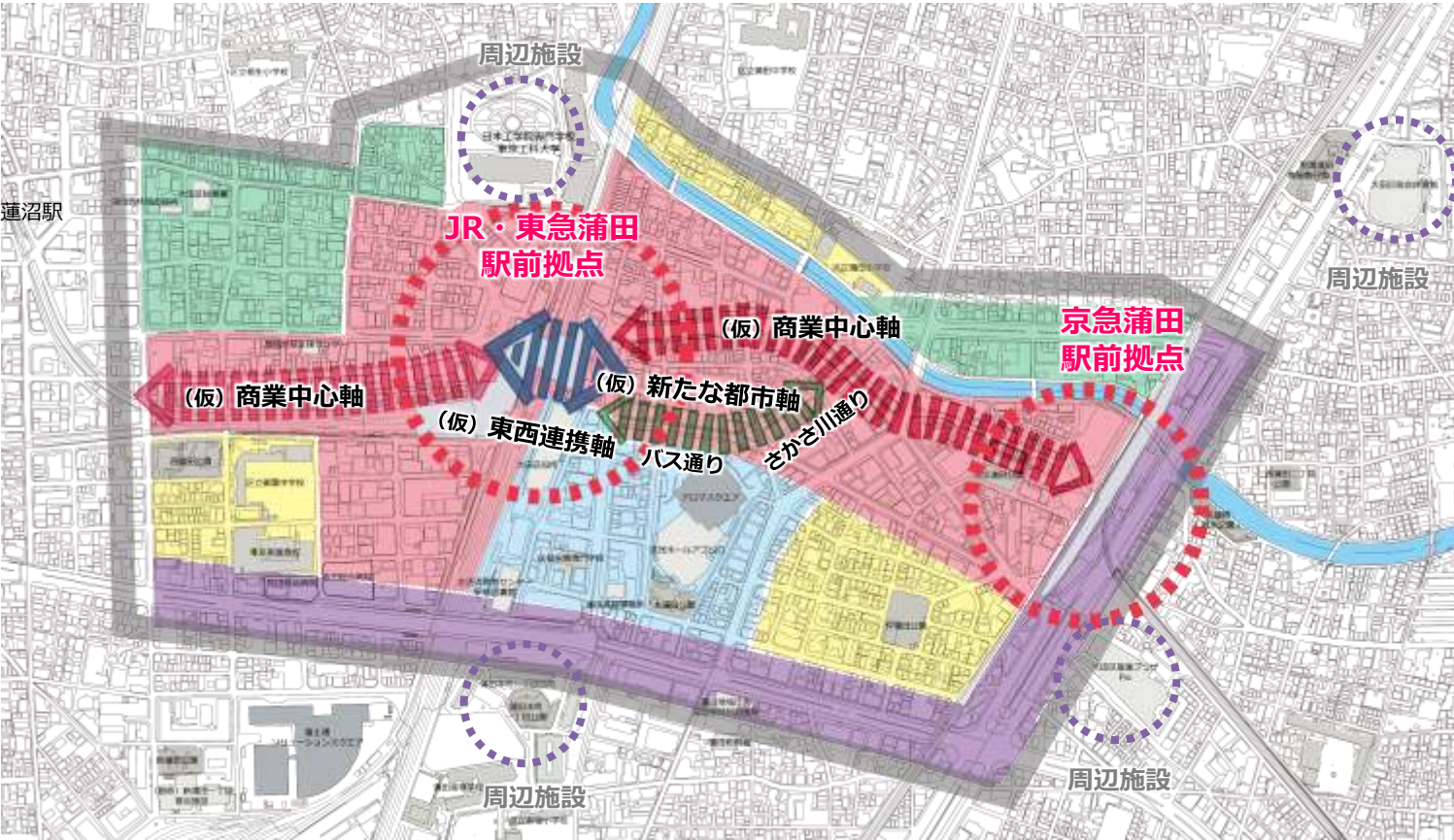
【地区全体のまちづくりの方向性】
「環境」が整った様々な「空間」で多様な「活動」が展開され、にぎわいが創出されることを目的に、2つの拠点を軸が繋ぐまちの骨格を形成し、骨格を中心として生じるにぎわいが地区全体に波及する一体的なまちづくりを推進する。

GD骨子



GD素案(たたき台)

駅前拠点・都市軸・エリアで展開するアクションプランの内容も踏まえて、GD骨子で定めた内容の具体化を進めていきます

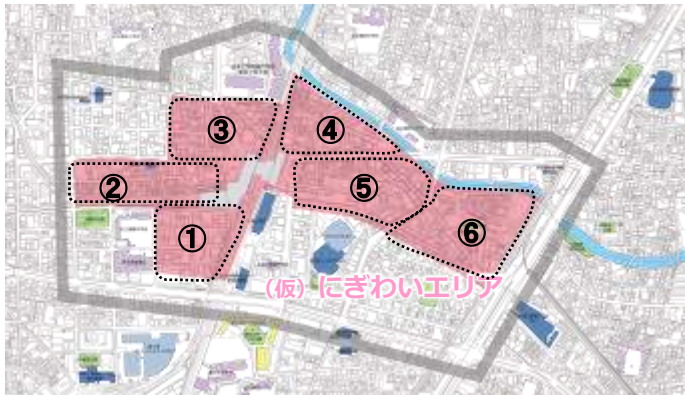


※エリアや軸の位置・範囲・名称は検討中です

各エリアの現況と特徴に応じて、重点的に取り組むアクションプラン・その展開場所を以下の構成で示します

(仮)にぎわいエリア

【用途地域】
・商業地域



※エリアの具体的な内容については
今後検討します。



サンライズカマタ



バーボンロード



さかさ川通り

出典：蒲田東口おいしい道計画 公式HP

現況と特徴

ほぼ全域にわたって商店会が存在し、と賑わいのある商店街が連なって存在している。
土地利用転換による集合住宅が増加しており、狭い土地での単身者向け集合住宅が目立つ。

- (①)
- ◆ ユザワヤなどの大規模小売店舗が分布している。
- ◆ 業務系施設をはじめ、集合住宅、宿泊移設、娯楽施など中層建築物が集積している。
- (②)
- ◆ サンライズカマタ、サンロードカマタのアーケード街、東急線沿いのバーボンロードなど、個性的な商店街集積している。
- ◆ アーケードの沿道の建築物は、耐火構造が進んでいる。比較的小規模な建築物が多い。
- ◆ バーボンロードの一部に、木造建築物が集積している。
- (③)
- ◆ 駅周辺は飲食店等の小規模店舗が立地しや宿泊施設が集積。
- ◆ 駐車場など暫定利用地が分布している。
- (④)
- ◆ 飲食店や娯楽施設が立地している。
- ◆ 駐車場などの暫定利用が分布している。
- ◆ JR線沿線には、小規模な木造建築物が集積している。
- (⑤)
- ◆ 飲食店や娯楽施設、宿泊施設が立地している。
- (⑥)
- ◆ アーケード街をはじめ、小売店舗や飲食店が集積している。
- ◆ エリア内の西側約2.5haにおいて、街並み誘導型地区計画が策定されている。



細長い単身者向け集合住宅

重点的に取り組むアクションプラン(案)



商業

多様なニーズに応える商業の集積と担い手支援 (AP1-1①)
(建物所有者と出店者を繋げる方策、次世代リーダーの育成 など)



観光

旅行者を引き付けるイベントやプロモーションの充実 (AP4-1①)
(商業をはじめとする観光資源の個性や魅力のPR、イベント など)



歩行者空間

歩行者の安全とまちのにぎわいを創出する駐車場の適正化 (AP6-1②)
(地域特性に応じた駐車場隔地化や荷捌き集約化 など)



建物

沿道のにぎわいが連続する複合市街地の形成 (AP8-1①)
(低層部には店舗等が連続し中層階には業務等がある多用途複合のまちづくり など)



ユニバーサル
デザイン

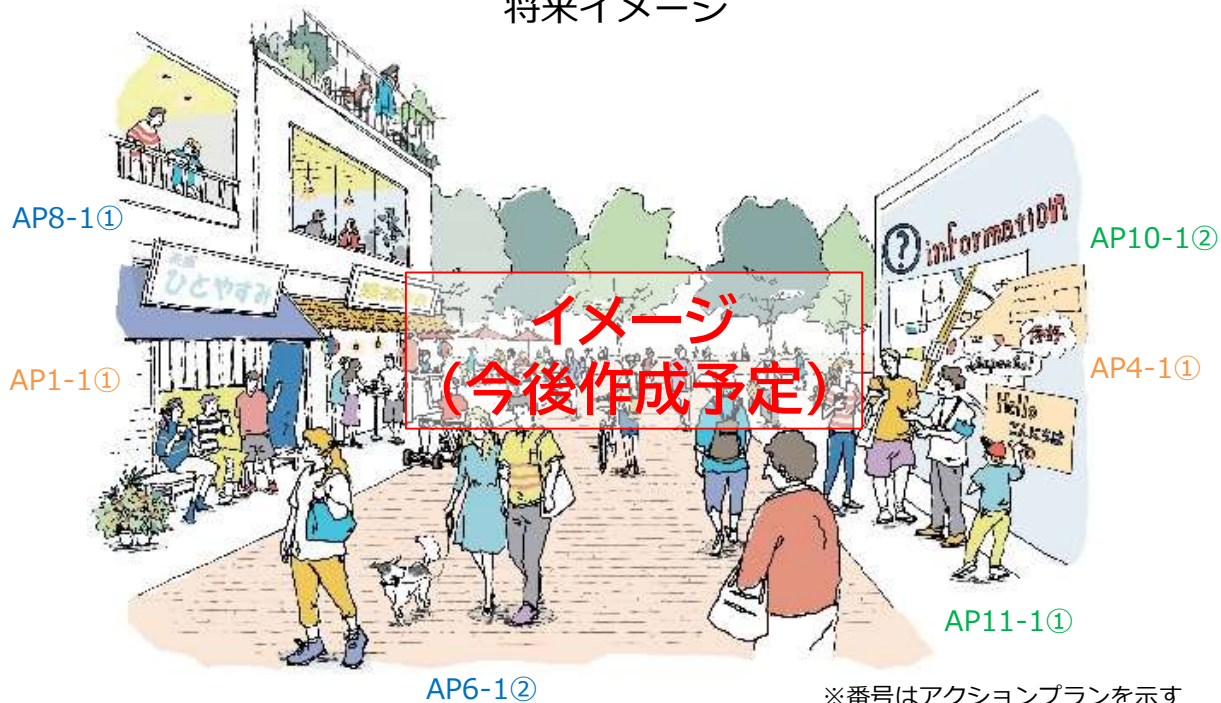
外国人とのコミュニケーションを円滑にする多言語化の推進 (AP10-1②)
(多言語対応の案内板、商店向け外国語対応会話集やメニューの作成 など)



美化・景観

まちをみんなで綺麗にする美化活動の促進 (AP11-1①)
(商店街の清掃、官民が連携したごみ収集、サインや看板の整備保持 など)

将来イメージ



※番号はアクションプランを示す

(仮)創造・交流エリア

【用途地域】・商業地域



大田区
本庁舎



アロマスクエアと
大田区区民ホール「ア
プリコ」



消費者生活センター



※エリアの具体的な内容については今後検討します。

現況と特徴

- ・大田区本庁舎が立地
- ・芸術（音楽・美術など）が楽しめる区民ホールアプリコの存在や、消費者センターや専門学校などの文化・教育・交流の場の存在
- ・業務系施設であるアロマスクエアが立地し、多くのワーカーの存在
- ・土地利用転換により集合住宅が増加。とくに単身者向けが目立つ

重点的に取り組むアクションプラン(案)



産業・ビジネス

立地特性を活かした業務機能の誘導（AP2-1①）

（国内外の企業・海外ベンチャー企業・サテライトオフィスの誘導 など）



暮らし

地区への愛着を育む学び・交流機能（施設・サービス）の充実（AP3-1②）

（生涯学習を支援する施設・学習スペース・交流スペースの誘導 など）



建物

人々が留まり、にぎわいを生むオープンスペースの拡充（AP8-1②）

（地域の交流や経済の活性化に資するオープンスペースの設置を誘導 など）

まちの更新を図る老朽建物の建替えと公共施設や街区の再編（AP8-1③）

（公共施設や街区等の再編も含めた一体的な整備について検討 など）



防災

重要な拠点として災害時に都市活動が継続するための備え（AP9-1①）

（防災拠点となる施設の安全性の確保や機能強化 など）



ユニバーサル
デザイン

誰もがしやすい移動できるバリアフリー化の推進（AP10-2①）

（公共交通機関・公共施設・民間建物のバリアフリー化の推進、通行幅員確保 など）

(仮)多彩な活動エリア

【用途地域】

- （西）
- ・近隣商業地域
- ・商業地域



多摩堤通り（西）

- （東）
- ・近隣商業地域



多摩堤通り（東）



※エリアの具体的な内容については今後検討します。

現況と特徴

- （西）多摩堤通り沿道には、商業・業務系用途の建築物、集合住宅が立地。中層建築物が多い。
 - （東）専門学校、宿泊施設、集合住宅と多様な用途の建築物が集積。呑川沿いである。
- 多摩堤通り沿道は、建物の共同化・再開発が進み、集合住宅が立地している。

重点的に取り組むアクションプラン(案)



暮らし

多様な人々の暮らしを支える機能（施設・サービス）の充実（AP3-1①）

（医療・教育・子育てなど生活支援機能の誘導 など）

人々の支えあいを育む交流機会の充実と参加促進（AP3-2①）

（町会・自治会等の地域イベント、多様な人が参加しやすいサークル活動 など）



歩行者空間

緑と潤いのある呑川沿いの散策路の整備（AP6-1③）※呑川沿いを対象

（街路樹の植樹、護岸の緑化、沿道敷地とも連携した滞在空間の設置 など）



交通

自転車や歩行者が安全に移動できる自転車利用環境の確保（AP7-1②）

※多摩堤通りを対象

（自転車走行レーンの設置 など）



防災

災害に備えた自助・共助・公助の体制づくり（AP9-3①）

（防災訓練・講習、避難場所や避難経路の周知 など）



自然・環境

親水性の向上と潤いを創出する呑川の水質改善（AP12-1②）

※呑川を対象

（水質浄化対策 など）

(仮)暮らしのエリア

【用途地域】
・第一種低層地域



住宅街(東) 出典:google map



※エリアの具体的な内容については今後検討します。

現況と特徴

(西)公園や学校がある。戸建て住宅が多い。細分化された敷地がある。
駐車場など暫定利用用地が分布している。
(東)公園がある。建築物の用途の混在、建て詰まりなどが生じている。
(北)呑川沿いである。学校がある。集合住宅や独立住宅が集積している。

重点的に取り組むアクションプラン(案)



暮らし

地区への愛着を育む学び・交流機能（施設・サービス）の充実（AP3-1②）
※学校との連携など

（生涯学習を支援する施設・学習スペース・交流スペースの誘導 など）
人々の支えあいを育む交流機会の充実と参加促進（AP3-2④）
（町会・自治会等の地域イベント、多様な人が参加しやすいサークル活動 など）



歩行者空間

緑と潤いのある呑川沿いの散策路の整備（AP6-1③）※呑川沿いを対象
（街路樹の植樹、護岸の緑化、沿道敷地とも連携した滞在空間の設置 など）



防災

災害に備えた自助・共助・公助の体制づくり（AP9-3①）
（防災訓練・講習、避難場所や避難経路の周知 など）



自然・環境

回遊と交流を生む緑を感じる環境の創出（AP12-1①）
（緑豊かな憩いの場を増やす、地域のふれあいパーク活動 など）

親水性の向上と潤いを創出する呑川の水質改善（AP12-1②）
※呑川を対象
（水質浄化対策 など）



防犯

安心してすごせるための地域の力でつくる安全な環境（AP13-1①）
※学校周辺など
（見守り・パトロール など）

(仮)沿道エリア

【用途地域】
（環八沿道）（第一京浜沿道）
・近隣商業地域 ・商業地域



環八通り(西) 出典:google map



※エリアの具体的な内容については今後検討します。

現況と特徴

(環八沿道)小規模建築物、駐車場などの暫定利用用地、未利用地がある。
沿道地区計画が策定されている。
(第一京浜沿道)平成24年 の立体交差化によりにより南蒲田交差点周辺の渋滞が緩和

重点的に取り組むアクションプラン(案)



交通

自転車や歩行者が安全に移動できる自転車利用環境の確保（AP7-1②）
※環八、第一京浜を対象
（自転車走行レーンの設置 など）



防災

地震に強いまちづくりの推進（AP9-2①）
（建築物の耐震化の促進、無電柱化の推進 など）



自然・環境

回遊と交流を生む緑を感じる環境の創出（AP12-1①）
（緑豊かな沿道環境の形成 など）

駅前拠点を設定し、重点的に取り組むアクションプラン・その展開場所を以下の構成で示します

JR・東急蒲田駅前拠点

重点的に取り組むアクションプラン(案)



産業ビジネス

ビジネスパーソンを支えるプラットフォームの構築 (AP2-1③)
(気軽に仕事ができるシェアオフィス・広場の誘導 など)



観光

羽田空港利用者等が立ち寄る切っ掛け(宿泊・利便施設)の充実 (AP4-1③)
(宿泊機能や、空港の情報やサービスを受けられる施設について検討 など)



駅・駅前広場

多様な移動手段や駅とまちをつなぐ駅前広場の機能向上 (AP5-4①)
(駅前広場の整備 など)



建物

まちの更新を図る老朽建物の建替えと公共施設や街区の再編 (AP8-1③)
(公共施設や街区等の再編も含めた一体的な整備について検討 など)



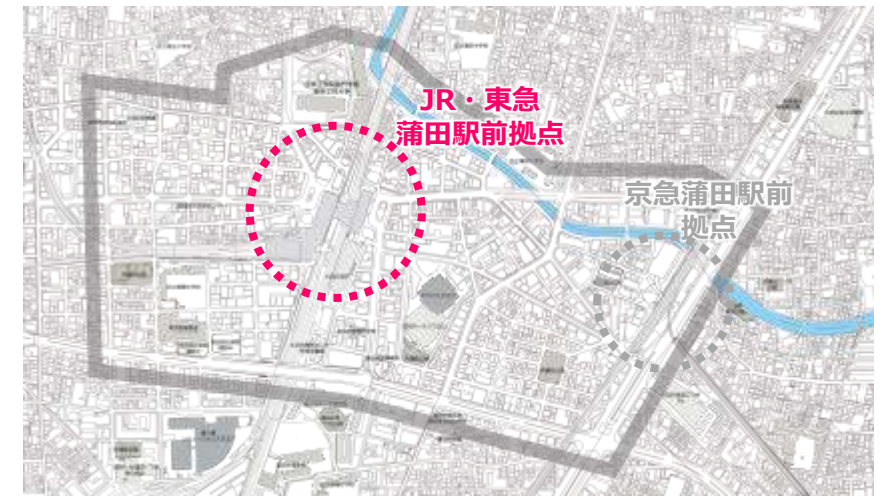
防災

被災者・帰宅困難者を守る一時避難施設や防災備蓄の整備 (AP9-2③)
(帰宅困難者の一時滞在施設の確保や物資の備蓄、災害発生時の誘導 など)



ユニバーサル
デザイン

誰も迷わない分かりやすいサインの整備 (AP10-2②)
(分かりやすさを重視した案内誘導サインの整備 など)



将来イメージ

AP8-1③

AP2-1②

AP4-1③

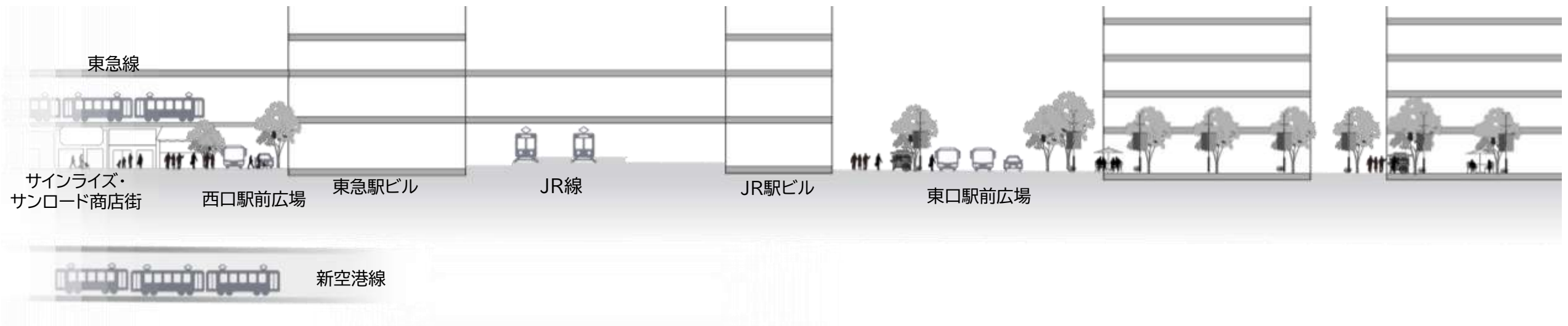
イメージ
(今後作成予定)

AP10-1③

AP5-3③

※番号はアクションプランを示す

将来イメージ(断面)



京急蒲田駅前拠点

重点的に取り組むアクションプラン(案)



産業ビジネス

ビジネスパーソンを支えるプラットフォームの構築 (AP2-1②)
(気軽に仕事ができるシェアオフィス・広場の誘導 など)



観光

旅行者を引き付けるイベントやプロモーションの充実 (AP4-1①)
(観光案内所の活用、イベントの内容充実、情報発信・PR など)

羽田空港利用者等が立ち寄る切っ掛け(宿泊・利便施設)の充実 (AP4-1③)
(宿泊機能や、空港の情報やサービスを受けられる施設について検討 など)



建物

まちの更新を図る老朽建物の建替えと公共施設や街区の再編 (AP8-1③)
(街並み誘導型地区計画の活用による良好な街並み・空間・機能の誘導と高度利用 など)



防災

被災者・帰宅困難者を守る一時避難施設や防災備蓄の整備 (AP9-2③)
(帰宅困難者の一時滞在施設の確保や物資の備蓄、災害発生時の誘導 など)



ユニバーサル
デザイン

誰も迷わない分かりやすいサインの整備 (AP10-2②)
(分かりやすさを重視した案内誘導サインの整備 など)



将来イメージ(断面)

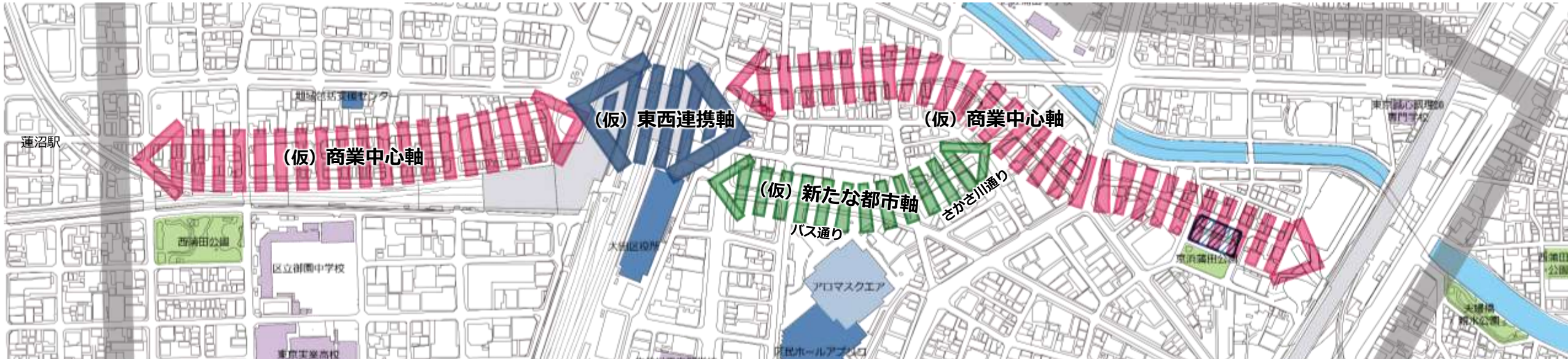
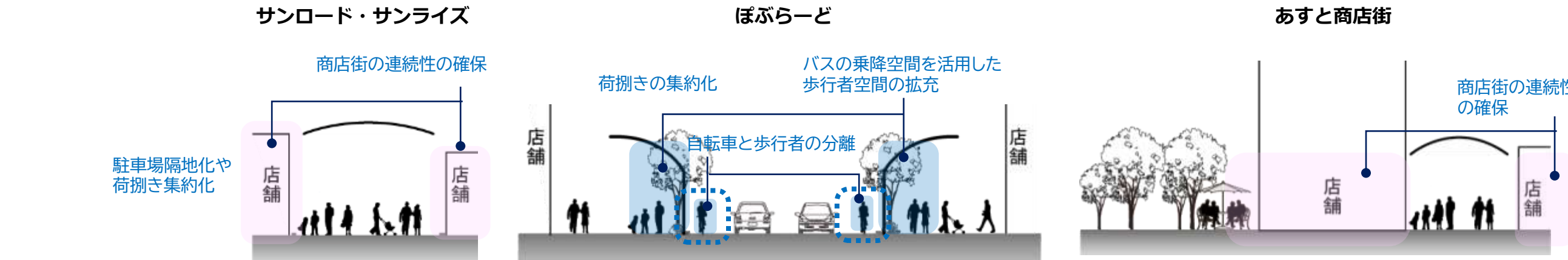


都市軸を設定し、重点的に取組むアクションプラン・その展開場所を以下の構造で示します

（仮）商業中心軸

重点的に取り組むアクションプラン(案)

商業	多様なニーズに応える商業の集積と担い手支援（AP1-1①） （建物所有者と出店者を繋げる方策 など） 多様な人々を呼び込むプロモーション活動の拡充（AP1-1②） （商店街の情報発信やイベント開催 など）	歩行者空間	歩行者の円滑な移動と多様な活動を支えるストリートの創出（街路空間の再構築）（AP6-1①） （ゆとりある歩行者空間の確保 など） 歩行者の安全とまちのにぎわいを創出する駐車場の適正化（AP6-1②） （駐車場隔地化、荷捌き集約化 など）
観光	旅行者を引き付けるイベントやプロモーションの充実（AP4-1①） （商業をはじめとする観光資源の個性や魅力のPR、イベント など）	ユニバーサルデザイン	外国人とのコミュニケーションを円滑にする多言語化の推進（AP10-1②） （多言語対応の案内板 など） 誰もがすいすい移動できるバリアフリー化の推進（AP10-2①） （通行幅員確保 など） 誰も迷わない分かりやすいサインの整備（AP10-2②） （案内誘導サインの整備 など）



(仮) 新たな都市軸

重点的に取り組むアクションプラン(案)



多様なニーズに応える商業の集積と担い手支援 (AP1-1①)
(建物所有者と出店者を繋げる方策 など)

多様な人々を呼び込むプロモーション活動の拡充 (AP1-1②)
(商店街の情報発信やイベント開催 など)



ビジネスパーソンを支えるプラットフォームの構築 (AP2-1③)
(気軽に仕事ができるシェアオフィス・広場の誘導 など)



旅行者を引き付けるイベントやプロモーションの充実 (AP4-1①)
(商業をはじめとする観光資源の個性や魅力のPR、イベント など)



歩行者の円滑な移動と多様な活動を支えるストリートの創出
(街路空間の再構築) (AP6-1①)
(ゆとりある歩行者空間、オープンスペースの確保 など)

歩行者の安全とまちのにぎわいを創出する駐車場の適正化 (AP6-1②)
(駐車場隔地化、荷捌き集約化 など)



人々が留まり、にぎわいを生むオープンスペースの拡充 (AP8-1②)
(地域の交流や経済の活性化に資するオープンスペースの設置を誘導 など)

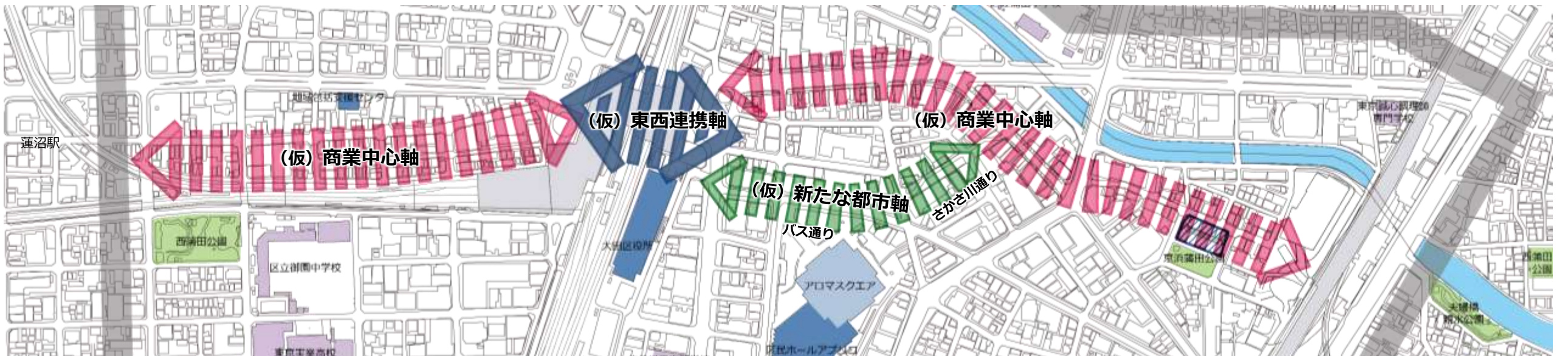
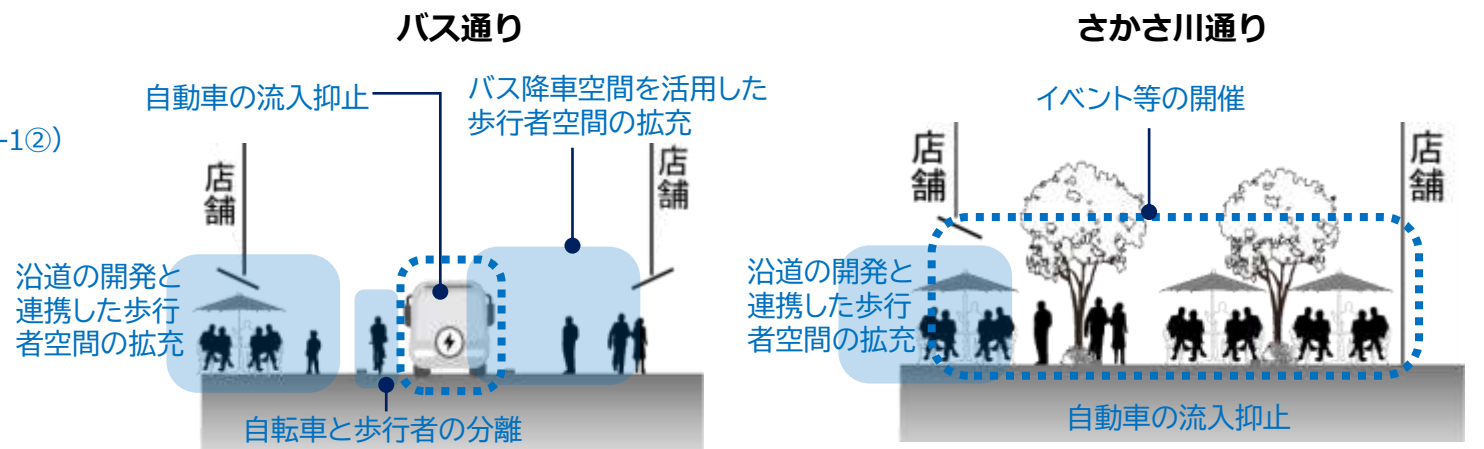
まちの更新を図る老朽建物の建替えと公共施設や街区の再編 (AP8-1③)
(公共施設や街区などの再編も含めた一体的な整備について検討 など)



外国人とのコミュニケーションを円滑にする多言語化の推進 (AP10-1②)
(多言語対応の案内板 など)

誰もがすいすい移動できるバリアフリー化の推進 (AP10-2①)
(通行幅員確保 など)

誰も迷わない分かりやすいサインの整備 (AP10-2②)
(案内誘導サインの整備 など)



(仮) 東西連携軸

重点的に取り組むアクションプラン(案)



駅・駅前広場

利便性が高く人々を集めるJR・東急蒲田駅の再整備 (AP5-1①)
(駅の再整備 など)

まちの顔となる駅ビルの駅と一体的なリニューアル (AP5-1②)
(駅ビルのリニューアル など)

歩行者・駅利用者の円滑で快適な移動を支えるJR・東急蒲田駅東西自由通路の整備 (AP5-3①)
(東西自由通路の拡充 など)

JR・東急蒲田駅東西の連絡性を強化する通路の整備 (AP5-3②)
(北側通路の検討 など)

多様な移動手段や駅とまちをつなぐ駅前広場の機能向上 (AP5-4①)
(駅前広場の整備 など)



防災

被災者・帰宅困難者を守る一時避難施設や防災備蓄の整備 (AP9-2③)
(帰宅困難者の一時滞在施設の確保や物資の備蓄、災害発生時の誘導 など)



ユニバーサル
デザイン

誰もがすいすい移動できるバリアフリー化の推進 (AP10-2①)
(駅のバリアフリー化、通行幅員確保 など)

誰も迷わない分かりやすいサインの整備 (AP10-2②)
(案内誘導サインの整備 など)

